

2016（平28）年度 事業計画書

[2015(平27)年10月1日から2016(平28)年9月30日までの1年間]

- 1 学術大会の開催・開催準備
第28回学術大会：2015年12月5日（土）～6日（日）（諸会議は4日（金））
開催地：都市センターホテル： 会長：帝京科学大 齋藤益子教授【実施中】
19 I U S T I A P 学会（2016.12 岡山）への支援と協力態勢の確立
（第29回学術大会とジョイント：会長：岡山県環境保健センター所長）
- 2 学会誌その他の出版物の発行
 - 1) 「日本性感染症学会誌」第26巻第2号 [抄録号：第28回大会担当] 10月既刊
 - 2) 「日本性感染症学会誌」第27巻第1号 [通常号：編集委員会担当] 2016年6月刊行予定（編集は岐阜大学大学院泌尿器科）
- 3 全国8支部活動への協力
代議員・幹事の支部選出の再推進、支部学術総会の開催奨励継続など
- 4 研究および調査、普及啓発の奨励及び研究業績の表彰
ガイドライン2016構想の実現化・パブコメの実施、冊子の3月末までの刊行
2016年度学術奨励賞の選考（学会誌第1号刊行後）、
特定感染症予防指針の推進協力、厚生労働科学研究事業への協力、ほか
- 5 各種委員会の開催 新法人下での既設の諸委員会の活動の見直しと検討要す
 - ・ 渉外委員会の新設（委員長＝瀨砂理事） 海外の学術大会との連携、など
 - ・ 利益相反委員会の立ち上げ
 - ・ 倫理委員会、ガイドライン委員会、学術奨励賞選考委員会など（継続）
 - ・ 認定制度委員会（試験制度の導入、認定士会合のその後）
 - ・ 学会誌編集委員会（執筆要領等の検討、過去のバックナンバー電子化）
 - ・ 梅毒委員会（治療問題の検討へ）、等
- 6 各種役員会の開催
例年通り実施予定（定例理事会は、1、(4)、6、10、12月）
- 7 関係学術団体との連絡及び協力
日本エイズ学会＝合同シンポジウムの継続開催、ICD 協議会＝講習会開催・資格取得推進、日本思春期学会（配布終了の共同制作・性教育CD第2版の後継）、公衆衛生学連絡協議会、日本性科学連合(JFS)、健やか親子「21」への参加（第2期）、日本医学会への加盟申請の継続、など
- 8 その他
学会事務局業務の外部委託化、ほか学会法人化業務の具体化。